

会 議 議 事 録

				記録者 廃棄物対策G 主幹 横田 純一	
供 覧	部 長	課 長	課長補佐 ・ GL	主査・係長	グループ員
件 名	令和元年度 第1回 龍ヶ崎市廃棄物減量等推進審議会				
日 時	令和元年8月21日(水) 午後2時20分から午後5時00分				
場 所	龍ヶ崎地方塵芥処理組合 事務棟 3階大会議室				
主 催 者	産業経済部環境対策課				
出 席 者	<p>【委 員】 古井 恒, 田崎智宏, 大野みどり, 石嶋照幸, 大橋実紀, 大貫幸男, 中村寿子, 枘田道隆, 竹添正明, 大藤剛志, 藤田信夫, 岡林正信, 外雅子, 亀高証, 松田美恵子, 高原博子, 杉野啓子</p> <p>【事務局】 宮川部長, 富塚課長, 山崎課長補佐, 宇津野主査, 記録者</p> <p>【龍ヶ崎地方塵芥処理組合】岡田和幸</p>				
欠 席 者	【委 員】 仁平伸一, 大竹昇, 小林史人				
内 容	<p>1 開 会</p> <p>2 部長あいさつ</p> <p>3 委嘱状交付・委員自己紹介・事務局職員紹介</p> <p>4 施設見学(クリーンプラザ・龍)</p> <p>5 議 事</p> <p>(1)ごみ処理の現状及びごみ減量施策について ・平成30年度龍ヶ崎市一般廃棄物処理実施計画実績報告 資料2</p> <p>(2)キエーロモニター実績報告について 資料3</p> <p>(3)その他</p>				
事務局(宇津野)	<p>それでは、定刻となりましたので令和元年度第1回龍ヶ崎市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。まず、始めに龍ヶ崎市産業経済部宮川部長よりごあいさつをいたします。</p>				
宮川部長	<p>産業経済部長の宮川です。本日はよろしくお願いいいたします。産業経済部は昨年新設されまして、環境対策課の他に農業政策課と商工観光課、それから企業立地課の各課で構成しています。</p>				

	<p>委員の皆様におかれましては、日頃より当市の環境行政にご協力を賜りまして、この場をお借りして御礼申し上げます。また、ご多忙の中、本審議会の委員を快くお受けいただきまして改めて御礼申し上げます。</p> <p>さて、龍ヶ崎市では平成8年に策定いたしました龍ヶ崎市ごみ処理基本計画に基づき、市民の皆さんのご協力の中、ごみ減量に取り組んできましたが、1人1日あたりのごみ量については若干の微減と、目標にはなかなか届いていないのが現状です。</p> <p>また、この会場でありますクリーンプラザ・龍の施設についても平成11年8月から稼働しているところですが、最終処分場については令和16年頃には、新たな施設の更新を迎えます。龍ヶ崎市に関する廃棄物の課題を、様々な観点から議論していただき、活発なご意見をいただきますようお願い申し上げます。任期は2年間となりますが、どうぞお力添えをいただきますようお願いいたします。</p>
事務局(宇津野)	<p>それでは、委嘱状の交付式に移りたいと思います。代表して岡林正信様、前の方をお願いします。</p>
	各委員に委嘱状手交
事務局(宇津野)	<p>委員の皆様は今年の7月から新たに委嘱された方々でございます。初めての審議会ですので、委員の皆様方から自己紹介をお願いいたします。田崎委員から時計回りの順にお願いいたします。</p>
	各委員及び事務局職員自己紹介
事務局(宇津野)	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日、仁平委員、大竹委員、小林委員は所用により欠席でございます。次に、本日会場をお借りしております龍ヶ崎地方塵芥処理組合岡田事務局長にも同席いただいております。</p>
岡田事務局長	<p>岡田でございます。本日は、よろしく申し上げます。</p>
事務局(宇津野)	<p>ありがとうございました。続きまして、施設見学に移りたいと思います。</p> <p>本日は、ごみ処理施設「クリーンプラザ・龍」の見学となりますが、ここからは龍ヶ崎地方塵芥処理組合の職員であります大橋委員にご案内いただきたいと思います。</p> <p>それでは、よろしく申し上げます。</p>
龍ヶ崎地方塵芥処理組合	<p>龍ヶ崎地方塵芥処理組合大橋委員から、下記について、説明及び施設案内があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DVDによる施設紹介・説明 2. 工場内見学
事務局(宇津野)	<p>それでは、審議に入る前に本日の委員の出席者数を確認させていただきます。委員総数20名のうち、出席者が17名、欠席者が3名でございます。出席委員が過半数に達しておりますので、規定により本会議が成立したことをご報告いたします。続きまして、本審議会は龍ヶ崎市廃棄物の処理及び再生利用の促進に関する条例第35条により、会長1名、</p>

	副会長1名を置くこととなっております。会長、副会長を決めたいと思いますが、ご推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。
	各委員, 推薦なし
事務局(宇津野)	ご推薦の声が無いようですので、事務局から推薦させていただいてよろしいでしょうか。
	各委員から異議なしの声あり。
富塚課長	それでは、ご推薦が無いようでございますので、事務局から推薦させていただきます。会長につきましては、これまでも会長をお務めいただきました古井恒委員に、また副会長につきましては市議会環境生活委員会の副委員長である石嶋照幸委員を推薦します。
事務局(宇津野)	皆様いかがでしょうか。
	各委員から異議なしの声あり。
事務局(宇津野)	それでは、古井会長、石嶋副会長のお二人からご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。
古井会長	只今ご指名いただきました、前回も会長を務めさせていただきました古井でございます。スムーズな運営をしていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。
石嶋副会長	只今ご指名いただきました石嶋です。会長をしっかりサポートしていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。
事務局(宇津野)	ありがとうございます。それでは、早速議事に入りたいと思ひます。議事の進行につきましては、古井会長にお願いしたいと思います。
古井会長	はい、それでは始めたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。まず会議録の作成にあたりましては、発言内容と発言者の氏名を記載するものといたします。また事務局で作成した会議録につきましては、一度委員の皆様へ会議録をお送りし確認していただきます。 その後、会議録署名人の署名をもって公開というような段取りになります。それでは今回の会議録署名人の選任でございますが、私の方から指名させていただきます。大野委員と石嶋副会長にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。
大野, 石嶋委員	両委員から了承の声あり。
古井会長	はい、ありがとうございます。今回の議事録が作成されましたら内容を確認いただいて署名をお願いいたします。次に審議中に各員が発言する場合には、挙手をお願いいたします。指名させていただいた後にご発言をお願いいたします。 それでは会議次第に従いまして議事を進行して参ります。まずは初めに、(1)について、事務局からご説明お願ひいたします。

事務局(山崎)	<p>3 議 事</p> <p>(1)ごみ処理の現状及びごみ減量施策について</p> <p>・平成30年度龍ヶ崎市一般廃棄物処理実施計画実績報告 資料2</p> <p>上記について説明があった。</p>
古井会長	<p>はい、ありがとうございました。それでは、ご意見・ご質問がありましたら挙手をお願いします。</p> <p>ごみ袋の有料化の話も出てきましたが、中々目標どおりにはいかないというのが長年委員を務めての感想です。毎年様々な取り組みを実施しても、横ばいなし微減という風にごみの減量は中々簡単ではないと思います。</p>
富塚課長	<p>キエーロの説明の前に一点だけ補足になりますが、実績報告書の説明の中で指定廃棄物についての説明がありましたが、こちらは土ではなく溶融飛灰を保管しております。よろしくをお願いします。</p>
古井会長	<p>はい、それではご質問が無いようですので、また後程ご質問があればお受けいたしますので続いて、議題(2)キエーロモニター実績報告についてに移らせていただきます。事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局(山崎)	<p>3 議 事</p> <p>(2)キエーロモニター実績報告について 資料3</p> <p>上記について説明があった。</p>
古井会長	<p>はい、どうもありがとうございました。地道な実験の結果ということでご報告いただきました。どなたか、ご質問はございますか。</p>
藤田委員	<p>はい、中々ごみは減らないと思います。日本の人口が半分に減ればごみも減ると思いますがいかがですか。</p>
田崎委員	<p>人口減少すればもちろんごみは減りますが、単純にそれがいいとは言えないのでバランスが大事だと思います。</p>
古井会長	<p>経済は落ち込まないようにして人口は減らすという方法を取らないと解決は難しいのかなと思います。</p>
田崎委員	<p>資料3についてですが、個人的には、キエーロは集合住宅でもできるのが非常にいいと思います。私も市民であったら参加したいと思っていました。</p> <p>そこで、資料3のP8の第7ですが、1世帯あたりの生ごみ削減量が掲載してありますが、ごみ処理基本計画との関係を見るために1人1日あたりの生ごみ削減量を表記してほしいと思います。</p> <p>その上で1人1日あたりの生ごみ削減量を推測すると約100g減るというので、モニター世帯は既に市の目標値を達成できる見込みとなります。やはり、生ごみを削減できるのは大きなインパクトだと思っています。今後、生ごみ処理機の購入補助の要件緩和も含めて</p>

	<p>どうしていくのかというところかなと思います。</p> <p>また、今回は二人以上の世帯を対象に募集されましたが、単身世帯の方でもよいのではと思いました。</p> <p>さらに、観察記録の提出が面倒と感じて、中々応募できなかった方もいるのかなと感じました。そこで、観察記録そのものが宣伝効果になるようなSNS等の活用も考えてみる必要があると思いました。以前モニターをやられていた方にはアドバイスをもらうなど、報告と宣伝を同時にしていくと一般の市民の方にも情報が届くのではないかと考えます。</p> <p>そうすると参加者が 100 世帯行くかもしれないのもうちちょっと工夫をしてもいいのではないのでしょうか。</p>
古井会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>専門家のご意見をいただきましたが、確かにどうしても生ごみは出ます。これをどう少なくするかが大事なことだと思いますし、宣伝の仕方の工夫も考えていただけたらと思います。</p> <p>また、人口が半分になるとごみも減るとのご意見もありましたが、これから人口は間違いなく減ります。ただ、ごみが同じように減るかという点、必ずしもそうとは言えない部分もあります。龍ヶ崎市でいうと人口は減っていますが世帯数は増えている状況です。世帯と人口のバランスがあつて、ごみの発生にも影響してくると思います。</p>
宮川部長	<p>参考ですが、社会保障人口問題研究所が昨年出したデータによれば、龍ヶ崎市は来年2020年には約76,000人(76,005人)、2025年には約72,900人(72,859人)、2030年には約69,100人(69,107人)、2045年には約55,600人(55,597人)になるという推計が出ています。</p>
富塚課長	<p>先程、田崎委員からご指摘いただきました資料3のキエーロモニター実績報告については、1人1日あたりの生ごみ削減量に修正したいと思います。また、宣伝についても行政としては不得意な部分かもしれませんが、工夫に努めていきたいと思っています。</p> <p>また、皆さんにお配りしましたごみの出し方チラシの裏面下部に生ごみ処理容器の購入補助制度を掲載していますが、今まで電気を使うものと使わないものがありましたが、それらに土壌混合型の電気を使わないキエーロを追加して募集を行っています。キエーロについては、H30は利用されたのは1世帯だけですが、認知度アップも含めてPRしていきたいと思っています。</p>
古井会長	<p>2030年には7万人を切ってしまうという衝撃のデータがありましたが、人口が減っていくということは頭に入れておきながら、ごみの現状についても考えていきたいと思っています。</p> <p>その他にご質問ありましたら、挙手をお願いします。</p>
亀高委員	<p>質問ですが、キエーロに使う黒土は、何か特別な微生物が入っているようなものでしょうか。</p>
事務局(山崎)	<p>土の中には微生物がいますので、黒土については、ホームセンター等で販売されている一般的なもので結構です。</p>

古井会長	他にご質問はいかがですか。農業の専門家でいらっしゃる大藤委員はいかがでしょう。
大藤委員	土の中の微生物を利用して分解していき、一部はたい肥利用もできるというものですよね。家庭菜園をしている世帯は問題ないと思いますが、していない世帯のたい肥の利用方法などについても考える必要があるのではないのでしょうか。
事務局(山崎)	はい、生ごみが分解された栄養のある黒土をたい肥として使っていただいてもよいですし、キエーロの製造元に問い合わせしたところ、黒土については理論上入れ替える必要はないとの回答をいただいています。
田崎委員	たい肥利用についてはあまり想定されていないようです。そのまま土に還すという使い方になるようです。
大藤委員	土はほとんど増えないということなのですね。
富塚課長	はい、たい肥にしないと循環しないというのではなく、そのまま使い続けることが可能です。
事務局(山崎)	一つ補足ですが、キエーロモニターについては10世帯募集しまして5世帯の応募でしたが、今回使用したのはベランダ de キエーロという商品で、集合住宅でも使えるものでして、マンションやアパート等にお住まいの方々からもお問合せが来たのですが、設置については管理組合や管理会社の許可が必要な場合もあったためか、中々応募し辛い部分もあったものと推測されます。
古井会長	ありがとうございます。集合住宅の制約がどうしてもあるということですね。その他ございますか。
松田委員	本当にわかりやすい報告書をいただきまして、ありがとうございます。私も気が付かなかったのですが、これを生かした上での、市のこれからの取り組み等はいかがですか。
事務局(山崎)	モニターについては平成30年度限りということで実施いたしました。今後については、龍ヶ崎市生ごみ処理機等購入補助制度を継続していくのですが、キエーロの補助について補助要件の緩和も含めて導入しやすいような検討も必要かと思えます。
松田委員	市民としては補助額が増えればありがたいのですが、一般市民に伝わるまでには、また違う方法でやらないといけないのかなと思います。虫が湧いたりするとベランダに中々置きづらい部分があるので、1,000世帯は難しいのではないかと思います。それと、一度実物が見たいと思いました。
事務局(山崎)	モニターに貸与していないものを市役所環境対策課前で展示していたのですが、スペースの問題で現在は撤去しております。 なお、市広報紙りゅうほー8月後半号にモニターの実験結果について周知を図っています。 また、田崎委員からご指摘がありましたとおり、キエーロの1人1日あたりの生ごみの削減

	量を追加させていただき、市公式HP等に掲載していきたいと思います。
古井会長	はい、ありがとうございました。
田崎委員	無償貸与できなかった残りのキエーロがあるのでしたら、もう一度今年募集してもいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。
事務局(山崎)	モニターは10世帯の募集をしたのですが、元々前任者が7基を購入していたので、3機を追加購入する予定でしたが、結果的にモニターの応募が5世帯だったので、3機の追加購入はせず、現在の残りは2基となっています。その内の1基を先程もご説明いたしましたとおり市庁舎環境対策課前で展示しておりました。もう1基については、お昼に出前を取る職員もいて、生ごみが出ますので市職員が実験してみるという案もあるのですが、なかなか実行に移せていない状況です。いずれにしても、2基しかないということでご理解いただければと思います。
古井会長	よく分かりました。他にありましたら挙手をお願いします。ここだけは聞いておきたいというところ等があればお願いします。
田崎委員	<p>国全体での話となりますと、5月に食品ロス関連の法律が公布されているということと、6月に開催されたG20(金融・世界経済に関する首脳会合)で海洋プラスチック問題が主要テーマとして取り上げられました。</p> <p>これらについては、今年度は難しいと思いますが、来年度からの取り組みの中で何をやっていくということが重要な部分になってきますので、今の内から検討していただきたいというのが国の立場からの助言です。どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局(山崎)	はい。食品ロス削減につきましては、平成31年3月の審議会で単年度計画についてご審議いただきましたが、その中で今年度は市内の飲食店組合等に対して食品ロス削減の周知や願いをしていきたいと考えております。よろしくお願いします。
古井会長	ありがとうございました。そろそろお時間ですので、進行を事務局へお返ししたいと思います。
事務局(宇津野)	<p>長時間にわたり、ご審議いただきましてありがとうございました。次回につきましては、12月頃の開催を予定しております。事務局からお知らせいたします。会議録は事務局で作成し、後日確認等していただきますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それから委員報酬につきましては、ご提出いただいた振り込み先に振り込みさせていただきますが、継続の方で振込先に変更がある場合や書類の提出がある方につきましては、この後ご提出いただきますようお願いいたします。</p>
事務局(宇津野)	以上で令和元年度第1回廃棄物減量等推進審議会を閉会いたします。大変お疲れ様でした。

令和元年8月21日に行なわれた会議の内容については、上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

議事録署名人

議事録署名人